
「小児の心室中隔欠損症では Qp/Qs の上昇に伴い体血流量は減少するか」 に関するお知らせ

このたび、当院で診察を行った患者さんの情報を用いた以下の研究を実施いたします。
本研究は、埼玉医科大学総合医療センター 研究倫理委員会の承認を得て、病院長による許可のもと行うものです。
本研究では、患者さんに追加でご負担をお願いすることはありませんが、カルテ情報を使用することにより賛成でない場合、あるいはご質問がある場合は、患者さんご自身でもその代理人の方でも結構ですので、問い合わせ先までお申し出ください。お申し出いただいても不利益になることは一切ありません。

研究の概要について

1. 研究の対象となる方

1999 年 4 月 1 日から 2025 年 12 月 31 日までに当院または埼玉医科大学病院、埼玉医科大学国際医療センター、埼玉医科大学総合医療センターで川崎病または心室中隔欠損症の診断で心臓カテーテル検査を行った児を対象とします。

2. 研究の目的

心室中隔欠損症の患者において、新生児期の哺乳不良、体重増加不良が体血流量の低下によるものなのか、体血流量は保たれているが肺血流量の上昇によるものなのかを検証します。併せて血漿 BNP と肺体血流比、体血流量との関係も明らかにします。

3. 研究期間

2026 年 2 月 5 日 ～ 西暦 2027 年 3 月 31 日

4. 利用または提供の開始予定日

2026 年 2 月 26 日

開始予定日以降も研究への利用停止などのお申し出に対応いたします。

研究に用いる試料・情報について

1. 試料・情報の内容

①性別、年齢、体重、身長、②心エコー検査のデータ（VSD の大きさ/圧較差、大動脈弁輪径、肺動脈血流速度、左室拡張末期径、左室駆出率）、③心臓カテーテル検査のデータ（Qp、Qs（CI）、Qp/Qs、左室拡張末期容積、左室駆出率、肺血管抵抗）、④手術時年齢、⑤手術後の心臓カテーテル検査のデータ、BNP

※この研究で得られた患者さんの情報は、総合医療センターにおいて、研究責任者である高尾浩之が、個人が特定できないように加工した上で管理いたします。そのため、患者さんのプライバシーが侵害される心配はありません。

2. 試料・情報の取得方法

診療記録およびカテーテル検査解析ソフト（Pedcath）

3. 試料・情報を利用する者（研究実施機関）

埼玉医科大学総合医療センター 小児科 助教 高尾 浩之（研究代表者）

埼玉医科大学国際医療センター 小児心臓科 准教授 小島 拓朗（研究責任者）

埼玉医科大学病院 小児科 助教 永井 未来（研究責任者）

4. 試料・情報の管理責任者

埼玉医科大学総合医療センター病院長 別宮 好文

お問い合わせについて

ご自身のカルテ情報等を利用されたくない場合、あるいはご質問がある場合には、以下の連絡先までご連絡ください。

利用されたくない旨のご連絡をいただいた場合は、研究に用いられることはありません。

ただし、ご連絡いただいた時点で、既に研究結果が論文などで公表されていた場合、結果などを廃棄することができないことがありますので、ご了承ください。

高尾 浩之

埼玉医科大学総合医療センター小児科助教

〒350-8550 埼玉県川越市鴨田 1981 番地

電 話：049-228-3835

E-mail：takao_h@saitama-med.ac.jp

○研究課題名：小児の心室中隔欠損症では Qp/Qs の上昇に伴い体血流量は減少するか

○研究責任者：埼玉医科大学総合医療センター小児科 高尾浩之